

科学が明かす松江平野の歴史

渡 辺 正 巳

(文化財調査コンサルタント(株)・島大汽水研 客員研究員)

0 自己紹介

1 はじめに

1-1 松江平野と松江城下町

1-2 市史での課題

1-3 市史での役割

2 県道城山北公園線(大手前通り)での調査について

2-1 調査の概要

2-2 試料の採取(1)ハンディジオスライサー

2-3 試料の採取(2)ハンドオーガー

2-4 試料の採取(3)壁面からの採取

2-5 分析について(1)放射性炭素年代測定

2-6 分析について(2)CNS分析

2-7 分析について(3)花粉分析(1)プレパラート作成方法

2-8 分析について(4)花粉分析(2)顕微鏡観察とデータ整理

3 花粉化石について

3-1 花粉って・・・!

3-2 花粉の構造

3-3 花粉の形態

3-4 化石の定義1

3-5 化石の定義2

4 山陰地域の植生史と松江平野

4-1 中海・宍道湖地域：SB1

4-2 山陰地方西部

4-3 山陰地方東部

4-4 中海・宍道湖地域の特異性

4-5 中海・宍道湖地域の気候(気温と降水量)変化

4-6 なぜ、今必要なのか(松江平野の調査地)

5 県道城山北公園線(大手前通り)の地質断面図

5-1 CNS分析結果

5-2 花粉分析結果

5-3 総合化(断面の作成)

5-4 地質断面図と町割・堀川

5-5 城下町以前の景観(1)

5-6 城下町以前の景観(2)

6 市井の生活(屋敷地の畑)

6-1 畦畔の検出

6-2 畑の調査

6-3 畑のレントゲン写真

6-4 畑と田圃

6-5 顕微鏡写真1(裸子植物:針葉樹)

6-6 顕微鏡写真2(広葉樹1)

6-7 顕微鏡写真3(広葉樹2)

6-8 顕微鏡写真4(草本)

6-9 顕微鏡写真5(栽培植物1)

6-10 顕微鏡写真6(栽培植物2)